

NIH がオープンアクセスの草案を発表。方針は出版 6 ヶ月後に NIH が助成した論文を検索可能なウェブに搭載するものである (Paula Park)

NIH unveils open access draft. Policy would put NIH-funded papers on seachable Web site 6 months after publication| By Paula Park

The Scientist, September 8, 2004 <<http://www.biomedcentral.com/news/20040908/04/>>

米国国立衛生研究所 (National Institute of Health: NIH) が金曜日 (9 月 3 日) に公表した草案¹⁾は出版社との見かけ上の折衷案であり、それによれば NIH が助成した研究に基づく論文は出版の 6 ヶ月後に無料で利用できるようになる。

提案されている方針の下では、雑誌査読委員会は、NIH が助成した研究に基づく成果を報告する論文を精査することになる。雑誌が論文を編集し、そして出版するやいなや、編集者は、論文を検索可能なウェブサイトにアップロードし、NIH は 6 ヶ月以内にそれらが公的に利用できるようにする。

「NIH が助成した研究成果についての網羅的で検索可能な電子情報資源を設立し、すべての人に対して自由なアクセスを提供することは、おそらく、このような情報を収集し、配布する最も根本的な方法である。」と方針の草案は述べている。「NIH は、このような必要性和査読、編集および品質管理過程における雑誌ならびに出版者の決定的な役割の保持との均衡を保つべきである。」

下院歳出委員会 (House Appropriations Committee) の報告²⁾は、元々 NIH に対して、NIH が助成した他の論文については出版の 6 ヶ月後に公表することを要求するのみならず、NIH が出版経費を支出した論文については即座の公表を要求するように提案していた。

しかし、NIH 所長 Elias Zerhouni との 7 月の会合で、出版者は、論文の即座の公表は出版者のビジネスに劇的な影響をもたらすと抗議した。出版者に気兼ねして、公式な方針となる以前の 60 日間のパブリックコメントを求めるために公表された NIH の草案には即座の公表[という文言]は、含まれていなかった。

この折衷案は、しかしながら、出版者とオープンアクセスの提唱者のどちらをも満足させなかった。「この方針は、称賛すべきものであり、正しい方向への一歩であるが、それはオープンアクセスではない。」と Public Library of Science の議長であり、スローン・ケターリング記念がんセンター (Memorial Sloan-Kettering Cancer Center) の所長である Harold Varmus は言った。「基本的な目標は、刊行された時点で出版物が利用できるようになる、本当のオープンアクセスである。」と Varmus は *The Scientist* 誌に語った。

ハーバード大学医学部 (Harvard Medical School) のシステム生物学 (Systems Biology) の教授である Marc Kirschner は、6 ヶ月の出版の遅れは理想から程遠いと言った。という

のは、それは、科学者が自らの仕事にとって決定的に重要な研究への即座のアクセスを妨げるからである。「それは、研究の重複の原因となる。」とオープンアクセス出版者および *The Scientist* のパートナーである BioMed Central の評議会の委員である Kirschner は言った。

アメリカ出版協会 (Association of American Publishers: AAP) の専門・学術出版部会 (Professional/Scholarly Publishing Division) の副会長である Barbara Meredith は、草案には問題があると述べた。「私たちは、信頼性と研究の保護が極めて重要であると思っている。」と彼女は言った。「我々は、Zerhouni 博士が作成した方針は、研究を保護するような方法であると思っていない。」

Zerhouni に対する書簡で AAP の専門・学術出版部会は、その方針が公衆の要求を示す資料がないので「政府による自由企業の利害への干渉の明らかな事例」を提示していると述べた。この書簡は、科学・技術・医学情報の価値を 8 兆ドルと見積もっている。

「我々は、NIH の方針あるいは議会の要求³⁾ (もしくはその両方) が、現在、いかなる雑誌に出版した場合に、そして選択したいいかなる出版者に対しても、著作権を譲渡し、あるいは排他的な著作権を与える束縛のない自由を持っている (米国政府に雇用されていない) 著者の知的財産権を事実上拘束するのに使われることを非常に心配している。」と AAP の書簡は言及した。

書簡は、「著者の支払 (author pays)」あるいは購読料金を読者が支払うという雑誌モデルに対する他の代替方法が、経済的に発展しうるものなのかについても疑問を呈している。AAP は、議会に対して方針を産業と著者の利害を保護するものに変えるように働きかけるだろうと Meredith は言った。

Varmus は、その方針によって直に利益がある程度失われるかことになるかもしれないと結んでいるが、「良い雑誌」はその変化に耐えるであろうと予測していた。「彼らは自らのビジネスプランを変えざるを得ないだろう」と彼は付け加えた。

Varmus および Kirschner の両者は、方針の草案はオープンアクセスには至らないが、将来において完全なオープンアクセスを推進するであろうと述べた。「それはオープンアクセスの原則と簡単にアクセスするデータベースに依存する将来の生物情報検索にとってとてつもなく大きな勝利である。」と Kirschner は言った。「それは科学、科学コミュニティおよび一般公衆の利害を第一に置くものである。」

記事のリンク先

1) National Institute of Health, "Notice: Enhanced public access to NIH research Information." September 3, 2004.

< <http://grants1.nih.gov/grants/guide/notice-files/NOT-OD-04-064.html> >

2) A. McCook, "Open access to US govt work urged." *The Scientist*, July 21, 2004.

<<http://www.biomedcentral.com/news/20040721/01>>

3) P. Park, "NIH research to be open access." *The Scientist*, July 29, 2004.

<<http://www.biomedcentral.com/news/20040729/04>>

Professional/Scholarly Publishing Division of the Association of American Publishers,
"Open letter to Dr. Elias Zerhouni, director, NIH from a coalition of PSP Publishers," Aug.
23, 2004. <<http://www.pspcentral.org/>>

C. Zandnello, "Sabo bill assessed," *The Scientist*, July 16, 2003.

<<http://www.biomedcentral.com/news/20030716/04/>>